

「ゆがわら2001プラン」後期基本計画

町では、平成18年度（2006年度）から5年間の行政運営の指針である「ゆがわら2001プラン」後期基本計画を策定しましたので、その概要をお知らせします。

「ゆがわら2001プラン」について

1 計画の性格

21世紀の初頭における町の将来像やまちづくりの基本方向を定め、実現のための施策を総合的かつ体系的に整理したものであり、行政運営の総合的な指針であるとともに、町民の皆さんや民間企業などの地域における活動の方向性を示すものです。

2 計画の期間

「基本構想」

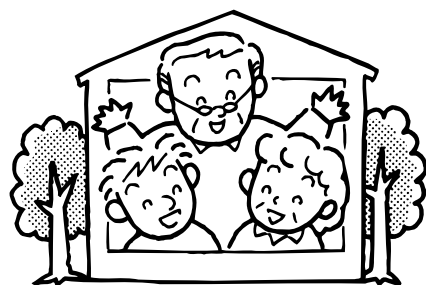
平成13年度(2001年度)～平成22年度(2010年度)の10年間

「後期基本計画」

平成18年度(2006年度)～平成22年度(2010年度)の5年間

「基本構想」とは、町の将来像とそれを実現するための基本目標及び施策の大綱を示すものです。

「基本計画」とは、基本構想で定めた施策の大綱に基づき、計画期間において実施すべき基本的な施策を総合的かつ体系的に示すものです。



基本構想について

1 町の将来像

「四季彩のまち・さがみの小京都 湯河原」

春・夏・秋・冬の四季折々に彩り豊かな楽しみがあり、「訪れて良く・住んで良い町」として発展していくイメージを表現しています。

2 基本目標

町の将来像を実現するために、次の5つの基本目標を掲げています。

I 町全体の魅力を高め、産業の活性化を図る

II 自然環境を保全し、安全で快適な生活環境を実現する

III 少子高齢化に対応した、安心できる保健・福祉の仕組みをつくる

IV 国際化・情報化に対応した人材を育成し、共生の地域社会をつくる

V 地方分権に対応した行政組織へ変革し、住民自治を充実する